

会議録（芳賀町学校運営協議会）

令和4年度 第5回芳賀町学校運営協議会会議録			
日時	令和5年1月12日（木）18:00～20:00		
場所	町民会館 多目的室		
出席者	[学校運営協議会委員] 稲川浩司、岡田由美子、野澤儀之、阿久津友希、岩崎進、今井由佳、岩村智織、森島規仁、広田マリ子、今西雅子、斎藤裕美、手塚真、黒崎浩一、水沼一彦、関本一雄（協議会委員出席15名）		
	[芳賀中学校]（校長）山本 守 （教頭）柳 利通 （地域連携教員）鶴見優希 [芳賀東小学校]（校長）小林春彦 （教頭）半田高代 （地域連携教員）高久 誠 [芳賀北小学校]（校長）小堀 隆 （教頭）手塚幸子 （地域連携教員）富士井慶 [芳賀南小学校] （教頭）関本恵美子（地域連携教員）那花和哲		
	[教育委員会事務局] （学校教育課長）小林芳浩（課長補佐兼学校教育係長）高橋輝秋 （学校教育課指導主事）松本 薫（学校教育課指導主事）涌井俊裕 （生涯学習課長）高津健司（生涯学習係長）大岡久美子 （社会教育指導員）柳岡敦子（生涯学習係主事）片桐綾乃 [芳賀町]（総務課地域安全対策係長）水沼真伸		
	司会	高津健司（議事進行）稲川浩司会長	書記
概要	1 開会 2 あいさつ（学校運営協議会長 稲川浩司） 3 連絡事項 4 協議 5 ふり返り 6 閉会		
協議事項 1 開会 2 あいさつ（学校運営協議会長 稲川浩司） 今週から中学校も小学校も三学期が始まっている。三年生については私立高校の受験なども始まっており、大変忙しい時期にお集まりいただきありがたい。第4回の学校運営協議会の時に話をしたが、今年度コロナウイルスの影響で全体的なスケジュールがずれており、今回は昨年末に行う予定だった熟議を行う。この後、2月、3月にも1回ずつ行うので、今年度も最後までご協力をお願いして挨拶とする。			
3 連絡事項（芳賀中学校 山本校長） 令和4年度初めから行っているプロジェクトH2の現状報告をする。今年度は生徒会が中心となり、基本的には生徒主体でアルミ缶の回収を行いたいということでスタートした。12月までに集めたお金は、9万円となった。H2とは花火の打ち上げのH、将来花見ができるよう			

に桜を買いたいという花見のHということで始まったが、なかなかアルミ缶が集まらず、12月からは保護者や学校運営協議会など地域の方への周知を行い、皆さまのご協力もあり現在は11万円になった。当初は12月までとしていたが、期間を延長して2月のはじめまでということにしたので、引き続きご協力をお願いしたい。2月22日の卒業生を送る会后、午後5時から6時頃に花火の打ち上げを予定している。地域の方にも見守りなど大変お世話になっているので、回覧等を利用して周知したい。

4 協議

(1) 熟議「子どもたちの安全確保について、学校運営協議会として取り組むこと」

(2) 全体共有

チーム鶴見

鶴見先生： ○見守り

子ども110番の家、警察、青色防犯パトロールや防犯ブザーの活用、防犯意識を高めるために町民へ講習会を行う。

○施設

スクールバスの充実、通学路や地域の危険箇所の確認、自転車通学の安全性、街灯の設置などを行う。

○地域との関わり

地域の行事などに参加する、挨拶をする、ボランティアなどに参加して地域の方と顔見知りになる。

「見守り」と「施設」が交換関係を持ち、「見守り」と「地域との関わり」が関係しあうことでより防犯を高められるのではないかと。

チーム稲川

富士井先生： ○子ども達・家庭の対策

学校でのマナー講座、110番の家、青色防犯パトロールの継続。また、新たに登下校中の避難訓練の実施。地域の繋がりが深まれば地域の方からも協力を得られるのではないかと。

○地域の対策

地域の活性化を目指す。既に行っているながら見守りに加えて、挨拶を交わして地域の人と顔見知りになることで防犯等に対しても防止や対策になる。

○行政の対策

危険箇所の把握について、地域・学校・家庭ではできることに限界があるので、行政にも力を貸してほしい。

子ども達・家庭、地域、行政のつながりがきちんと整理され、深まることがネットワーク作りに繋がる。また、犯罪や大きな災害の際に、地域の方に連絡がいけば登下校中でもすぐに対応ができる。そのために情報共有の部分については警察に、連絡手段については行政に協力してもらう必要がある。

チーム岩村

岩村委員： ○登下校の安全

下校時にトラブルや事件・事故に巻き込まれやすいという警察のデータがある。通学路の危険箇所を子どもの目線でもマッピングして見える化を図る。下校時間の周知をするなど地域の人の見守り、青色防犯パトロール・学校・警察などの外部支援を受ける。

○心の安全

放課後の居場所・プレーパークなどを活用し、孤立させない。ネット上の安全。自分で自分の身を守る（セルフディフェンス）・実技を教えることで実際に何かあった時に自分でも対応しやすくなる。

「情報共有の課題」

芳賀町は情報共有が上手くない。各学校の生徒が情報を更新できるような仕組み作りや学校新聞の作成。学校任せでは負担が大きくなるため、保護者や地域の人にホームページの更新を手伝ってもらうなど、発信方法を増やして外に情報を出さなければ、学校で行われていることが地域の人に見えにくい。

チーム岡田

岡田委員： ○通学路

自転車の指導、通学路の見直し、街灯の設置。さらに、新しい通学手段の見直しとして、中学校のスクールバスの採用や、小学校のスクールバスの添乗員として地域のボランティアを入れてはどうか。

○地域力（地域の人を借りる）

見守り方法の充実、挨拶を交わす、警察の安全なまちづくりの視点を教えてもらう。現在は保護者のみで行っている青色防犯パトロールを、地域の方にボランティアとして協力を得られないか。

「地域力を高める、地域の人に助けてもらう」

地域の方に子どもたちをどう守るかという研修をして、地域全体で挨拶や見守りへの意識を高め子どもの守り方を知ってもらう。

補足意見

岩村委員： 警察や消防で行っているような町民全体への一斉メールを学校からも行えないか。

稲川会長： 現在は、各学校で保護者が登録している一斉メールを使用している。下校時間などを周知するために、町のツールで町民全体へ利用できるのは防災無線。

手塚委員： 近隣の市町の防犯メールを登録しておけば、車を使う不審者の情報なども手に入れることができるので、既存のツールを上手く使うことも大切。

岩村委員： 情報共有を上手く進めるために、学校や行政で行っている方法を知りたい。

小林課長： 中学校で声掛け事案があった際に、学校から報告は上がっていたが情報共有という意識に至らず、教育長と担当者のみで報告をとどめてしまったことが大きな反省点。申し訳なかった。この反省を生かし、防災無線、広報はが、芳賀チャンネル等ですぐに情報共有ができるように対策を考えている。

水沼係長： 情報共有の方法としては、既存のツールで防災無線、広報はが、芳賀チャンネルが中心になる。

手塚教頭： チーム岡田で出ていた、地域の方への研修は効果があると感じた。情報を伝達しても、情報の使い方や対応の仕方を知らないと、情報を受け取るだけで終わってしまう。町民に研修などで、どうすれば子ども達を守れるかを学んでもらう。芳賀町の高齢の方は子ども達に興味を持っており、休校の日なども「今日は子ども達が歩いていないな」と様子をよく見ている。芳賀町の場合、保護者にも地域の特に高齢者の方にも同じ気持ちになってもらう方が防犯対策に繋がりやすいと感じる。

また、学校の中でも情報を教員に開示するか、保護者まで開示するかなど判断が難しい。全町民に伝えられない情報もちろんあるので、情報開示を検討するより前に、研修会や紙面などで、いざというときの対策方法を伝達した方が防犯に繋がるのではないか。

関本教頭： 学校では避難訓練を行っているが、いざというときというのはいつどこで起こるかわからない。学校でも危機管理マニュアルを作成し、登下校中の危機管理についてもその中に含まれている。子ども達にも対応の仕方を伝えてはいるが、いろんな場面を想定して、災害に遭ったときにどう行動したらいいかという訓練を実際にできたら良い。子どもたち自身も自分の身は自分で守れるようになるし、周りの地域の大人たちがどう行動するかを想像する機会になる。もちろんすべての想定を網羅できるわけではなく、地域の協力がなければできないことではない。最終的には、情報ネットワークや地域との連携が必要になってくる。

5 ふり返り

稲川会長： 全体のまとめとして、キーワードは「ネットワーク作りと情報共有をいかに進めていくか」としたい。行政内、学校内、町内での情報共有、住民同士の繋がりやネットワーク作りが今後の課題であるとし、情報共有については教育委員会でも検討していただきたい。

山本校長： 今回多数の意見が出た情報共有というのは、事件が起きた後に行うこと。未然に事件を防ぐ方法について、住民同士の繋がり・挨拶を大切にしたい。地域の人たちのお互いの顔と名前がわかる、みんなが挨拶できる町というのが昔は当たり前だった。小さい芳賀町の中でもどこに誰が住んでいるのかわからない状況になってきている。第1回の会議でもお願いしたが、中学生にも地域の人から挨拶していただきたい。地域の声掛け、お互いの顔がわかることで防犯意識に繋がる。

手塚委員： 今回の会議を受けて、学校でもどんな対策を考えるのか、次回の会議の際に教えていただければ、一歩進んだ会議になる。

年に1回でも、この会議に教育委員に参加していただいて、意見交換をしたい。教育委員会としての趣旨目的があると思うので、学校運営協議会と意識や方向性のすり合わせをしたい。

また、年に1回、町の防災訓練を行っているので、子ども達に参加してもらえれば地域との交流が進み、顔見知りになることもできるのではないかと。

5 閉会

今後のスケジュール

(1) 第6回学校運営協議会

日 時：2月24日（金）午後6時

場 所：芳賀町民会館 多目的室

内 容：学校関係者評価 ※委員の皆様には事前に資料を送付いたします。

(2) 第7回学校運営協議会

日 時：3月18日（土）午後1時30分

場 所：芳賀町民会館 多目的室

内 容：①一年間のふり返り

②仮題「子どもを地域で育てるとは」

講師：廣瀬 隆人 氏（一般社団法人 とちぎ市民協働研究会代表理事）